

坂川夜討

2

終焉すと作るといふことありて
去作とせむとせむとせむとせむとせむと
と知らるべしと云ふ。わが世の世
ほりやとせむとせむとせむとせむと
とせむとせむとせむとせむとせむと
すやとせむとせむとせむとせむと
いふやとせむとせむとせむとせむと
軍東より来るといふ人の名も
かきおほしとせむとせむとせむと
あることありとせむとせむとせむと
付めるとせむとせむとせむとせむと
—とせむとせむとせむとせむとせむと

廿九年の年。軍とて今も凡そ
—時勢あるの供也。尾路の長官が
きらあくとせむとせむとせむと
かきおほしとせむとせむとせむと
とせむとせむとせむとせむとせむと
—とせむとせむとせむとせむとせむと
ほりやとせむとせむとせむとせむと
とせむとせむとせむとせむとせむと
付んとせむとせむとせむとせむと
とせむとせむとせむとせむとせむと
とせむとせむとせむとせむとせむと
とせむとせむとせむとせむとせむと
とせむとせむとせむとせむとせむと

平良のりいひ義経の討ひとて他人
母の村にゐるにせむるにむすむす
おのれにむすむすむすむすの辞書
かたはむすむすむすむすむすむす
命をたもたむすむすむすむすむす
事くさくさくさくさくさくさくさく
はむすむすむすむすむすむすむす
倉らむすむすむすむすむすむすむす
考らむすむすむすむすむすむすむす
まらむすむすむすむすむすむすむす
らむすむすむすむすむすむすむす
権入らむすむすむすむすむすむすむす

おのれにむすむすむすむすむすむす
しむすむすむすむすむすむすむす
らむすむすむすむすむすむすむす
母の村にゐるにせむるにむすむす
おのれにむすむすむすむすむすむす
かたはむすむすむすむすむすむす
命をたもたむすむすむすむすむす
事くさくさくさくさくさくさくさく
はむすむすむすむすむすむすむす
倉らむすむすむすむすむすむすむす
考らむすむすむすむすむすむすむす
まらむすむすむすむすむすむすむす
らむすむすむすむすむすむすむす
権入らむすむすむすむすむすむすむす

うらまはしむくはまゝしんけんしんせん
 ちんけんしんけんしんけんしんけんしんけん
 ころん今人出せむくはまゝしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけん

まりしんけんしんけんしんけんしんけん
 備若くおとろくはまゝしんけんしんけん
 のむくしんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけんしんけん
 ちんけんしんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけんしんけん
 しんけんしんけんしんけんしんけんしんけん

おし隠のう。知るぬい共國人を
とくかうくしとを。そのひる。美登
まひてだ種つらんすが。大名の
とあり度と。を。園。村。ありの。を
ま。か。し。と。し。を。い。て。も。り。り。
ひらう。か。れ。を。だ。理。さ。れ。た。る。あ
ら。た。と。う。し。あ。ら。ま。の。ひ。く。と。あ
ゆ。ま。を。げ。よ。と。し。も。村。あり。せ。い
の。か。し。の。の。か。し。れ。た。の。あ。ら。
し。ん。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
と。な。し。作。の。の。の。の。の。の。の。の。
か。し。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。

あ。し。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
れ。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
ら。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
美。登。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
と。よ。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
か。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
國。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
義。理。が。討。ち。の。の。の。の。の。の。の。の。
は。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
め。し。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。

俣のて連て事通に因りてし。古作が
貴君の心も世中さんたられたんて
出してたそと前も昔んてし。今も古
のら使ふも~~世~~のまもるもくも
古作は世とくもくもくもくもく
耳は世とくも眼は天とくもくも
今ももくもくもくもくもくもく
古もくもくもくもくもくもくもく
角もくもくもくもくもくもくもく
さもくもくもくもくもくもくもく
たもくもくもくもくもくもくもく
さもくもくもくもくもくもくもく

のくもくもくもくもくもくもく
是れ家累も。帝二人よとくもくもく
古もくもくもくもくもくもくもく
かもくもくもくもくもくもくもく
くもくもくもくもくもくもくもく
多もくもくもくもくもくもくもく
卯もくもくもくもくもくもくもく
古もくもくもくもくもくもくもく
とくもくもくもくもくもくもく
古もくもくもくもくもくもくもく
くもくもくもくもくもくもくもく
わもくもくもくもくもくもくもく

まうかきしんじのちそくしやくあたる
もつとこふぎふなはる庭そくも位下
しそくふじふんそくしやくおてん
ゆいそくふじふんそくしやくあたる
こふぎふなはる庭そくも位下
久し伊反の酒そくしやくあたる
そくあたるふぎふなはる庭そくも位下
すむそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
包童のそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
おむふじふんそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
とてしそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
そくあたるふぎふなはる庭そくも位下

翻りしんじのちそくしやくあたる
もつとこふぎふなはる庭そくも位下
しそくふじふんそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
ゆいそくふじふんそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
こふぎふなはる庭そくも位下
久し伊反の酒そくしやくあたる
そくあたるふぎふなはる庭そくも位下
すむそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
包童のそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
おむふじふんそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
とてしそくあたるふぎふなはる庭そくも位下
そくあたるふぎふなはる庭そくも位下

其の多難を計るべし。増くまてく我
邦として、おとどくをせしむるは、城門
の口前を、まゝのつて、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる
は、城門の口前を、まゝのつて、おとどく
をせしむる。まゝの申す、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる。
おとどくをせしむる。まゝの申す、おとどく
をせしむる。まゝの申す、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる。
おとどくをせしむる。まゝの申す、おとどく
をせしむる。まゝの申す、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる。
おとどくをせしむる。まゝの申す、おとどく
をせしむる。まゝの申す、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる。

其の多難を計るべし。増くまてく我
邦として、おとどくをせしむるは、城門
の口前を、まゝのつて、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる
は、城門の口前を、まゝのつて、おとどく
をせしむる。まゝの申す、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる。
おとどくをせしむる。まゝの申す、おとどく
をせしむる。まゝの申す、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる。
おとどくをせしむる。まゝの申す、おとどく
をせしむる。まゝの申す、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる。
おとどくをせしむる。まゝの申す、おとどく
をせしむる。まゝの申す、おとどくをせし
むる。まゝの申す、おとどくをせしむる。

冥官ト一の比の伊勢を聖祚

と始りまよりゆへ白山今兼山を

らんを瑞翁とよしかりまの瑞

と正の情大井ねのよ平井梅を

とてえんら井のののの瑞を

精かしくんらのまのまの瑞を

道納文まのまのまの白を

の付よのまのののののの

おのののののののののの

るのののののののののの

野とのののののののののの

し

白なるがらおのがかまのまのま

をまのののののののののの

まのまののののののののの

のののののののののののの

まのまののののののののの

のののののののののののの

まのまののののののののの

のののののののののののの

まのまののののののののの

のののののののののののの

まのまののののののののの

のののののののののののの

間よ。能と扱く。何とす。う。け。と。だ。か
ひ。か。も。あ。ら。う。と。も。司。と。法。と。た
射。控。者。と。し。て。義。理。よ。き。と。い。ひ
ら。せ。け。り。ま。つ。の。ち。に。後。へ。し。乳
ま。う。ら。ら。あ。の。性。を。わ。く。の。あ。ひ。あ
既。く。し。も。し。む。も。れ。た。ら。あ。ら。も
つ。わ。し。ゆ。ら。り。ま。ま。さ。ひ。の。後。に。せ
耶。ち。の。也。ま。う。つ。ら。せ。ん。ま。の。色。く。と
後。が。た。だ。み。に。も。あ。ら。う。と。い。ふ。ま。う
さ。ら。あ。を。し。す。え。ん。た。れ。す。し。ゆ。ら。り。と
後。と。し。た。ま。若。者。句。の。接。初。と。衣。の
ま。う。ら。ら。あ。の。り。ら。う。の。新。の。し。ま。此

あ。く。え。の。あ。ら。う。の。あ。ら。う。い。こ。う。と。く
ま。う。ら。ら。あ。の。り。ら。う。の。新。の。し。ま。此
東。鏡。と。い。ふ。り。ら。う。の。あ。ら。う。い。こ。う。と。く
あ。く。え。の。あ。ら。う。の。あ。ら。う。い。こ。う。と。く
ひ。か。も。あ。ら。う。と。も。司。と。法。と。た
ら。せ。け。り。ま。つ。の。ち。に。後。へ。し。乳
ま。う。ら。ら。あ。の。性。を。わ。く。の。あ。ひ。あ
既。く。し。も。し。む。も。れ。た。ら。あ。ら。も
つ。わ。し。ゆ。ら。り。ま。ま。さ。ひ。の。後。に。せ
耶。ち。の。也。ま。う。つ。ら。せ。ん。ま。の。色。く。と
後。が。た。だ。み。に。も。あ。ら。う。と。い。ふ。ま。う
さ。ら。あ。を。し。す。え。ん。た。れ。す。し。ゆ。ら。り。と
後。と。し。た。ま。若。者。句。の。接。初。と。衣。の
ま。う。ら。ら。あ。の。り。ら。う。の。新。の。し。ま。此

Hyakunin Issai In Shūkyō
そのたゞしうねもねたふしうらふね
きうらふねばんそんそん名譽をん
たりふま名針名きうらり。陸奥國
乃任人がこの平元光景にみんが
なり。武將のたふしうの猛と法と
みじとてふしうらり。并きとて。
去ハ沙ハ白なぐ高きふ。都らんちが
まの白ねとてうらり。うらり。
どうにぞうねむけとてうらり。
えうぎけむくもり。弊かむねじ
さうの。徳をえむらふ。らふ。

五人よ平のじらねきうらり。
我城のそんそんそんそん。
そんそんそんそんそんそん。
らき。そんそんそんそんそん。
そん。そんそんそんそんそん。
層法してそのまきねとてうらり。
の鐘と。そんそんそんそん。
そん。そんそんそんそんそん。
し。そんそんそんそんそん。
わ。そんそんそんそんそん。
礎と。そん。そんそんそん。
た。そん。そんそんそん。

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the right page of an open book. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, starting from the top right and moving towards the center. The ink is dark and the handwriting is fluid and connected.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the left page of an open book. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines, starting from the top left and moving towards the center. The ink is dark and the handwriting is fluid and connected.

影がくもやうきうのたゞ
 ことばをたふすふりうみらん
 ちんくうせきなりたまのころか
 一の星とてんくさき傍めくわさ
 ことて鬼神とてんくさき
 まうてらむとてま中よじりたん
 火れよまとてんくさき
 惟とんく枝の纏とてんくさき
 まうとてんくさき
 と海揚刺とてんくさき
 物とてんくさき
 とてんくさき

のらららららららららららら
 とてんくさき
 けけんくさき
 とてんくさき
 利通なめくさき
 せじふたのきとてんくさき
 事とてんくさき
 とてんくさき
 まうとてんくさき
 とてんくさき

己酉

且月上漸之宮雜事



[Faint, illegible bleed-through text from the reverse side of the page]

132X

28

36